

令和3年10月8日

岩沼市に「米の需給調整および米価下落・
稲作経営農家支援対策」に関する緊急要請

当JAは10月8日(金)に岩沼市の菊地啓夫市長と飯塚悦男議長へ、JA名取岩沼と連名で、「米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策」に関する緊急要請を行いました。

要請内容につきましては、以下のとおりです。



左から、菊地啓夫岩沼市長、根深雅美 JA 名取岩沼組合長、日野光男 JA 岩沼市理事長



左から2番目、岩沼市議会議員・飯塚悦男議長

岩沼市長

菊地 啓夫 殿

米の需給調整および米価下落・稲作経営農家 支援対策に関する緊所要請書

令和3年10月8日

岩沼市農業協同組合
経営管理委員会会長 齋 幸一郎

名取岩沼農業協同組合
代表理事組合長 根深 雅美

宮城県農協政治連盟
JA 名取岩沼支部長 根深 雅美
JA 岩沼市分会長 齋 幸一郎

米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策 に関する緊急要請

令和3年産米の概算金については、本県をはじめとする全国の米産地で大幅な下落となり、所得減少による稲作農家への支援対策が喫緊の課題となっています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、業務用米を中心に需要が落ち込んだことで全国的に持越し在庫が高止まりし、需給が見通しにくいこと等が主な下落要因となっています。

農水省が7月29日に食糧部会で公表した米の需給見通しでは、令和3年6月末で219万トンと適正水準を大幅に超過しています。また、令和3年産米については、市町村再生協議会と稲作農家の努力により、全国で飼料用米等への作付転換が過去最大規模（6.2～6.5万ha）で行われたものの、令和4年6月の民間在庫量は210万トンの高止まりとなっています。加えて、コロナ禍による予期せぬ需要減や今後の作柄次第ではさらに需給緩和が進み、価格下落・低迷が継続していく懸念があります。

現状の米需給環境が改善しないと価格回復は見通せないことから、今後も稲作農家、担い手経営体の所得と経営に甚大な影響が危惧されます。

については、地域農業の持続的発展に向けて、稲作農家、担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるよう、そして、米の需給環境改善による所得確保と経営安定が図られるよう、下記事項について、国に対し強力に働きかけていただきますよう要請いたします。

記

【国へ働きかけて頂きたい事項】

1. 今般のコロナ禍による予期せぬ需要減等により発生した過剰米在庫については、政府備蓄米の運用改善等を含め、あらゆる政策を総動員した市場隔離を実施すること。
2. 3年産米について、過去最大規模の作付転換を行ったものの、米主産地では平年並み以上の作柄が公表されており、今後の作況および新型コロナウイルスなど予期せぬ需要減少等により、需給が大幅に緩和した場合は、迅速かつ的確な対策を講じ、需給環境の改善を図ること。
3. コロナ禍における生活困窮者や学生、子ども食堂、フードバンクへの国産米提供等による消費拡大の取り組みに向けた支援拡充を図る等、需要促進・拡大対策を積極的に講じること。

【市町村への要請事項】

1. 米価下落等に係る経営安定のための支援策として、農林業災害資金等が発動された際は、利子助成の金融支援対策を講じること。
2. コロナ対策の一環として、次期作に向けた経営継続支援策を講ずること。

以上